

# 森林やまがた

No. 62

2002 5月



第53回全国植樹祭式典リハーサル：金山町・遊学の森



## 第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

## 目次

第53回全国植樹祭		現地ルポ	
式典リハーサル……………	1	平成13年度木炭講演会開催される…	7
式典リハーサル・全体		菌床しいたけ栽培技術	
練習会を開催……………	2	研修会の開催……………	8
森林整備地域活動支援		イベントのご案内……………	9
交付金制度……………	4	山形県の古木・名木……………	10
木質バイオマスの有効利用…	5	公共木造施設……………	10
水と緑に学ぶ……………	6	松くい虫防除にご協力を	
		お願いします……………	11

## 第五十三回全国植樹祭 本番せまる 式典リハーサル・全体練習会を開催

第五十三回全国植樹祭の本番まであと一月と迫り、いよいよ雰囲気盛り上がってきました。

この日は、式典アシスタントの女子高校生十四名と介添え役の金山町内の緑の少年団員三十九名が参加し、登壇者の案内や介添えなど、それぞれの役回りについて入念にチェックが行われました。

式典に出演する各団体では、これまで個別の練習を進めてきましたが、総仕上げとして全体の流れをつかむ総合的なリハーサルの段階へと移ってきました。

今回は、式典リハーサルや全体練習会の開催状況、そして記念コンサートの開催など、式典準備の近況について紹介します。

この日は、式典アシスタントの女子高校生十四名と介添え役の金山町内の緑の少年団員三十九名が参加し、登壇者の案内や介添えなど、それぞれの役回りについて入念にチェックが行われました。

準備の近況について紹介します。

ポイントがつかめず、困惑している生徒もいましたが、皆真剣な表情で取り組んでいました。

### 荒天リハーサル

三月二十八日、金山町金山中学校の体育館を会場に荒天リハーサルが行われました。激しい風雨等の悪天候に見舞われ、どうしても晴天会場では開催でき

ない場合を想定し、参加者を絞っての記念式典の進め方について検証が行われました。

### 式典音楽隊全体練習会

式典音楽隊は、ファンファレ隊、吹奏楽隊、合唱隊、そして児童合唱隊で構成され、総勢で五百四十名余を数えます。こ

の式典音楽隊が一堂に会した全体練習会が、三月から四月にかけて二回開催されました。

天童市の県総合運動公園のアリーナを会場に、三月二十九日式典音楽隊の結団式を兼ねた全体練習会が行われました。また、四月十三日新庄市の市民文化会館において、荒天や雨天時に現地での演奏が困難となる場合に備え、式典で演奏される全十四曲の録音が行われました。

四月二十八日、金山町「遊学の森」で、出演者、協力員、実施本部員等総勢一千名が参加し、記念式典の部分を中心に、現地会場を舞台とした初めての全

光景やら、まだまだ練習が足りない、反省しきりの様子なども見られましたが、式当日は納得のいく最高の演奏をしようとの若々しい熱気が伝わってきました。

### 式典リハーサル

四月二十八日、金山町「遊学の森」で、出演者、協力員、実施本部員等総勢一千名が参加し、記念式典の部分を中心に、現地会場を舞台とした初めての全



3/28 荒天リハーサル(お手播きの介添え)  
(金山中学校体育館)



3/29 式典音楽隊全体練習会  
(天童市：県総合運動公園アリーナ)

体リハーサルが行われました。  
 午前中は、音楽隊、創作演技、徳内ばやしのそれぞれの合同練習とともに、式典アシスタントや介添え役となっている緑の少年団員、登壇者に扮した代役の県職員などの「うごき」や時間等について細かくチェックがなされました。



4/28 式典リハーサル〈お手植えの模様〉  
 (金山町・遊学の森)

午後からは、NHKの山岡裕明、YBCの小川香織の両アナウンサーの司会により、本番さながらの通しリハーサル(ラン・スルー)が行われました。出演者たちは、緊張した面持ちながらも、全体像が見えてくるにつれ、式典成功に向けての確かな手応えを感じている様子でした。



4/28 式典リハーサル〈表彰の模様〉  
 (金山町・遊学の森)



4/28 式典リハーサル〈ファンファーレ隊〉  
 (金山町・遊学の森)



4/28 式典リハーサル〈徳内ばやし〉  
 (金山町・遊学の森)

一方、全国植樹祭の本県開催を記念し、(社)国土緑化推進機構・山形県などの主催により、四月二十一日県民会館の大ホールを会場に、『芹洋子グリーンセンチュリーコンサート』が行われました。会場には、約一千名の聴衆が詰めかけ、楽しくさわやかな一時を過ごしました。

第一部では、「緑百年物語」と題して、芥川賞作家の新井満氏によるスライドをまじえた講演があり、第二部で、芹洋子さんによる「四季の歌」や「坊がつる讃歌」など、十数曲のさわやかな歌声が披露されました。

会場内は、芹さんのリードで全員合唱が行われるなど、終始なごやかな雰囲気のもと、緑の

◆

これから、全国植樹祭本番の成功に向けて、五月十一・十二の両日に総合リハーサル、六月一日に前日リハーサルを重ねるなど、万全の準備を進めていくことにしています。皆様の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

〔全国植樹祭推進事務局〕

大切さについて思いを新たにしています。

# 森林整備地域活動支援交付金制度

## ～今年度から始まる地域活動への支援～

### ◆はじめに

県では、「豊かな暮らしを広げる森林づくり」を進めるため、今年度から森林整備地域活動支援交付金制度をスタートさせます。

### ◆制度の概要

#### 一、対象森林

平成十四年度以降、新たに認定された森林施業計画の対象となっている森林

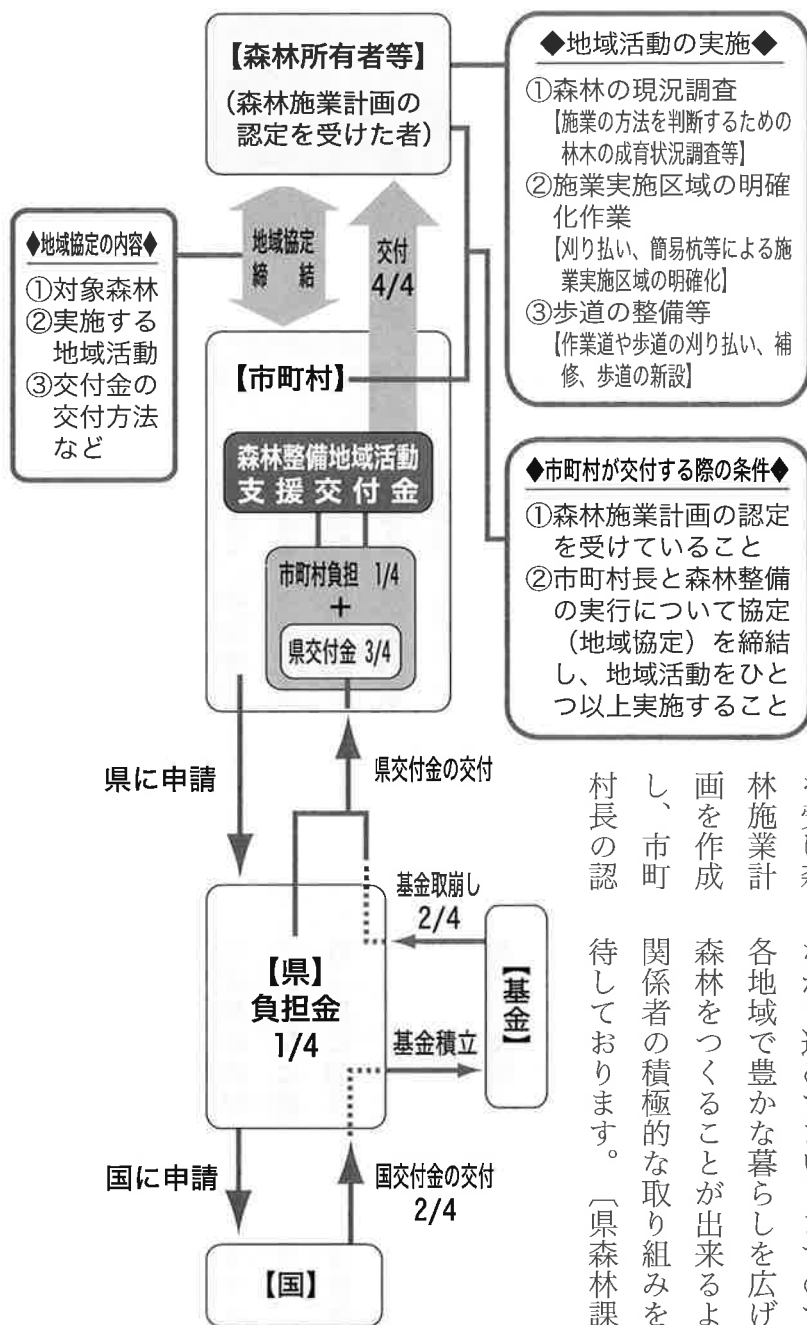
#### 二、対象者

森林施業計画の作成主体

#### 三、概要

下図のように、対象者が市町村長と地域協定を締結し、地域活動を行うことにより、森林施業計画どおりの施業を実施すると、一定林齢以下の育成林の面積にヘクター当たり一万円を

乗じた金額が、平成十八年度まで、毎年、市町村長から対象者に交付されるものです。



### ◆森林組合の役割

現在、不在村化の進行や林業経営の厳しさから、森林の適正な整備が困難な状況にあります。

このことから、今後、森林組合が森林所有者の方々から森林の長期の施業（五年以上）委託を受け、

林施業計画を作成し、市町村長の認定を受け、森林組合と連携を図りながら進めてまいりますので、各地域で豊かな暮らしを広げる森林をつくる事が出来るよう、関係者の積極的な取り組みを期待しております。（県森林課）

定を受けて、この計画に沿った各地域の森林施業を実施して行くことが期待されます。

### ◆まとめ

森林所有者の方々からこの制度の活用を図っていただくため、市町村、森林組合と連携を図りながら進めてまいりますので、

# 村山総合支庁の戦略プロジェクト 木質バイオマスの有効利用

## ◆はじめに

近年、地域温暖化防止や資源循環型社会の構築等から、木質バイオマスの利用が注目されています。燃料として利用する場合、燃焼効



試作された木質ペレットストーブ

率が高く、かつ自動供給が可能なペレット状に加工したものが最も相応しいと考えられています。

## ◆国産ペレットストーブの開発

現在、木質ペレットストーブは欧米製品が輸入されていますが、高価であり、かつ木部ペレット燃焼用として開発されているため、樹皮ペレットを使用すると支障がでる等の難点があり、国産ペレットの開発が期待されています。これに呼応して、今年二月に天童市の(株)山本製作所から試作品が発表されました。

## ◆村山総合支庁の取り組み

本年十二月からダイオキシンの対策のため焼却処分に対する法規制が強化されることから、製材工場等から発生する樹皮や端材の有効利用が緊急な課題となっています。このため、村山総合支庁では、木質ペレットに着目し「バイオマスエネルギー利用拡大プロジェクト」に取り組みんでいます。製材工場等から発生する樹皮や端材のみならず、未利用間伐材等の林地残材や河川の支障木、緑化木の剪定枝等の

木質資源も有効に利用することにより、木材産業の振興と新たな産業創出を図るとともに、地球温暖化防止に寄与するものです。

## ◆事業の概要

### ①需要開発会議（H14）

需要開発部会を設置し、ペレットの需要先の開拓、需要量並びに供給システム、ペレット製造プラントの規模、運営等についての調査研究を行います。

### ②推進セミナーの開催（H14～15）

一般市民及び大型施設関係者を対象とした各セミナーを開催し、普及啓発を図ります。

### ③モニター調査（H14～16）

ペレットストーブを使用したモニター調査を実施し、必要の掘起こしと普及啓発を図ります。また、来年度以降に、推進協議会の設置（H15～16）とペレット製造プラントの建設（H15～16）を計画しています。

## ◆おわりに

ペレットの需要が冬季に限定されることから、製造工場の安定的な運営には、夏季の需要開拓が不可欠です。このため、公

共施設等のバイオマスエネルギーによる冷暖房システムの導入等を推進する必要があります。また、山村地域では焼却後の灰の処理は、土壌改良剤として田畑への還元も容易ですが、都市部や大口顧客の灰の処理システムの検討が今後の課題です。  
〔村山総合支庁森林整備課〕



木質ペレット



花壇整備を終えて

【水生生物調査】  
ボランティア委員会を中心と  
なって、毎年、最上川の支流の  
一つ、丹生川の水生生物による  
水質調査を行っている。

活動の最後は、月山の散策。  
雄大な森林の中を、森の案内の

緑豊かな大石田の子供達も、  
自然に触れる機会は少なくなっ  
てきている。緑や水など自然の  
大切さを学ぶ上でも、緑の少年  
団の活動を充実させていきたい。

水と緑と文化の町、大石田。  
町を流れる母なる川、最上川。  
その流れのすぐ近くに本校は位  
置している。本校では、五・六  
年生を中心に緑の少年団の活動  
を行っている。昨年の活動を振  
り返つてみる。

「花いっぱい運動」  
に、本校では、「花いっぱい運動」  
に取り組んでいる。昨年は、J  
A・大石田支店の方々のご協力  
を得て、花壇とプランターへの  
花苗植えを行った。

【交流研修会】  
毎年行われている北村山と西  
村山地区の交流研修会に、昨年  
も六年生六名が団を代表して参  
加した。

先生を先頭に進んでいく。澄ん  
だ山の空気はとても気持ちによ  
い。そして、冷たい月山の湧き  
水に、子供達は大喜び。森に関  
する先生の話も、森林の役割や  
自然の偉大さがよく分かり、子  
供達の心にも染み渡っていた。



活動の少年団報告

# 水と緑に学ぶ

大石田町緑の少年団  
大石田町立大石田小学校  
三浦 朗

## 【花いっぱい運動】

この活動を通して感じること  
は、川に入って遊んだり、生き  
物を捕まえたりする経験が少な  
くなっているということ。もつ  
と自由に遊ばせたいと思うのだ  
が。



月山の自然にふれる子供達



基 調 講 演

**現地ルポ**

暮らしの中に木炭を  
**平成十三年度木炭講演会開催される**

近年、木炭は、燃料としての資材の他に、調湿、脱臭、浄水、防虫効果やマイナスイオンの発生など健康・環境改善資材として注目されています。この「木炭」市場の可能性と取り組むべき方向を探るため、去る二月十九日、飯豊町民総合センターあーすにおいて、木炭文化協議会の主催による平成十三年度木炭講演会が開催されました。

当日は、林業従事者、一般県民、行政担当者など約五十人が参加し、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

● 基調講演

まず、東北カーボン社長の村山勝四郎氏を講師に迎えて、「暮らしの中に木炭を」をテーマに基調講演を行いました。村山氏は、平成五年に産業廃棄物中間処理施設を設立し、廃木材の粒状炭の製造によるリサイクルを行っており、平成十二年に木材関係では初のリサイクル推進功労者として建設大臣から表彰されております。

講演の中では、東南アジアからの輸入木材が国内シェアの六十八%を占めており、安い輸入木炭に対抗していくためには、

付加価値の高いものでないと太刀打ちできないこと。木炭を作る際の温度管理が重要であり、六百五十℃以上で遠赤外線、電磁波遮へい、マイナスイオン発生などの効果が得られること。また、松、杉などの針葉樹を千

℃以上で炭化することで燃えない炭ができること。そして、これからは、従来の燃料用の木炭に加えて、このような付加価値の高い木炭製品を作るとともに、その良さを数値で表示することで消費者にPRしていくことが重要であるといった話をされました。

● パネルディスカッション

引き続き、井上俊雄山形県木炭文化協議会会長をコーディネーターに、村山氏、炭焼き仙人・山田静氏（西川町）、炭焼き主婦・菅野ちる氏（長井市）、県森林課二戸林産振興主幹の四



パネルディスカッション

人をパネラーに「木炭の可能性について」のテーマでパネルディスカッションを行いました。この中では、炭と花を組み合わせた装飾品の製作により室内インテリアと空気浄化を兼ねる方法があること、ドラム缶を用いた炭焼きを家庭で行うことで木炭に親しむことができること、これからは山形らしさを出したブランド化を確立する必要があること、需要を掘り起こし木炭ビジネスを活発化する必要があり、ことなど熱のこもった討論が行われました。

〔置賜総合支庁西置賜森林整備課〕

普及情報

菌床しいたけ栽培技術研修会の開催

林業教室専門コース

菌床しいたけ栽培技術研修会が三月五日（火）と六日（水）の二日間にわたり開催されました。

三川町きのこ培養センター、現地研修です。

一、研修内容

(一) きのこ類の需要動向

この研修会は、平成十三年度林業教室専門コース（特用林産教科）として開催されたもので菌床しいたけ栽培者及び新規栽培予定者を対象に、近年県産きのこの中で、生産が伸びつつある菌床しいたけについて、その栽培特性や、菌の生産状態を学習することによって栽培技術の向上と経営の安定に資することを目的に実施されました。

きのこ類の需要動向、しいたけについて十二年度菌床しいたけの生産がしいたけ全体の五十一%を占めていること、菌床しいたけの品質が年々向上していること等の話がありました。

きのこ類の需要動向、しいたけについて十二年度菌床しいたけの生産がしいたけ全体の五十一%を占めていること、菌床しいたけの品質が年々向上していること等の話がありました。

(二) きのこ種菌メーカーの営業担当者からは、上面栽培についての話がありました。

受講生は、県内各地域からの出席となり、研修場所は、菌床しいたけ栽培の盛んな庄内地区、

この栽培方式は、菌床の上面からのみ、きのこを発生させる方式で、ア、きのこ品質の向上

イ、収量の安定  
ウ、労力の分散と省力化  
エ、栽培施設の効率よい利用が図られる  
こと等の話がありました。



上面栽培培養・発生状況

養終了後（三十日前後）に行うこと、今後センターの規模拡大を計画しているとの話もありました。

(四) 最後に講師と受講生との意見交換が行われ、知識、技術があればいかに実行に移すか、きのこ市場は厳しいがやり方によっては旨味もある等の意見がありました。

二、おわりに

菌床しいたけは、生しいたけ栽培の省力化と原木不足の解消を狙い、規模の拡大と安定した収益を目指し九十年代から本格化しており、パイプハウスを使った自然栽培（季節栽培型）も可能であり、水稲プラスきのこ等特用林産物による収入確保、複合経営の推進を図る上からも今後きめ細かい普及指導が期待されています。

(三) 三川町きのこ培養センター利用組合長からは、培地の仕込み、栄養添加物、殺菌、接種培養について、また、センターから培養者への出荷は、初期培

〔森林研究研修センター主任林業専門技術員〕





# 「県民の森」「源流の森」「眺海の森」 イベントのご案内



県民の森で楽しいイベント 問い合わせ先：県民の森森林学習展示館 TEL. 023-666-2116

月 日	イ ベ ント	内 容
6月 8日(土) 6月22日(土)	第二土曜日森林クラブ 第四土曜日森林クラブ	ピオトープづくりのための基礎 「県民の森」ピオトープづくり
7月13日(土) 7月27日(土)	第二土曜日森林クラブ 第四土曜日森林クラブ	水辺のピオトープづくり 植物・昆虫・水生生物・森の標本など夏休み自由研究
8月10日(土)	第二土曜日森林クラブ	森林の生き物の観察と昆虫標本づくり
9月14日(土) 9月28日(土)	第二土曜日森林クラブ 第四土曜日森林クラブ	生き物のすみかづくり 生き物の環境の観察とピオトープづくり
10月12日(土) 10月26日(土)	第二土曜日森林クラブ 第四土曜日森林クラブ	ピオトープづくりのための安全な道具の使い方 カブトムシなどの生き物のすみかづくり
10月26日(土) 11月 4日(月)	むうぶ作品展	木工・クラフト作品の展示
11月3・4(日・月) 11月 9日(土) 11月23日(土)	森の芸術祭 第二土曜日森林クラブ 第四土曜日森林クラブ	森との融和ー新しい森林との出会いー 生き物のすみかづくりと焼き芋づくり 自然の恵みを生かす

源流の森で森に親しむ 問い合わせ先：源流の森センター TEL. 0238-77-2077

月 日	イ ベ ント	内 容
6月15日(土) 6月16日(日)	第31回 森林(もり)の学校	残雪の雑木林と杉林、巨木を訪ねよう 土日両日開催 源流の森インタープリターが案内 参加費500円/人
6月29日(土) 6月30日(日)	第7回 森を育てる実習隊	「源流の森の1000年の森をみんなで作ろう」杉林の手入れ ボランティア参加の楽しい森作り 参加費1,000円/人
7月13日(土) 7月14日(日)	第32回 森林(もり)の学校	森に親しもう、森の動物・植物に学ぶ豊かな自然体験 講師：山形県森林インストラクター協議会 参加費子供3,000円(1泊2日)
7月27日(土) 7月28日(日)	源流の森夏まつり	夏休み工作教室、自由研究相談会、森の音楽会など
8月10日(土) 8月11日(日)	第33回 森林(もり)の学校	森に遊ぼう、自然に親しみ、野外生活の楽しさ体験 講師：山形県森林インストラクター協議会 参加費子供3,000円(1泊2日)
9月 7日(土) 9月 8日(日)	第34回 森林(もり)の学校	森の幸を求めて、そして森の幸に舌つづみ 自然の恵みを楽しもう ゲスト：未定 参加費500円/人
9月21日(土) 9月22日(日)	第8回 森を育てる実習隊	「源流の森1000年の森をみんなで作ろう」ブナ・ナラの苗木づくり ボランティア参加の楽しい森作り 参加費1,000円/人
10月 5日(土) 10月 6日(日)	第35回 森林(もり)の学校	中津川の自然と文化にふれる 歴史ある農山村の暮らしを学ぶ 森の文化祭と同時開催 参加費500円/人
10月16日(水)~	第6回 冒険教育指導者講習会	冒険教育プログラムを活用できる指導者の養成 定員14名19歳以上の方 参加費114,000円(4泊5日)
10月25日(金)~	第7回 森林環境教育指導者研修	森林の中での環境教育に関する知識や手法を学ぶ 定員20名18歳以上の方 参加費25,000円(2泊3日)
11月 3日(日)~	第4回 企画展示展覧会	季節に応じた企画展示を行う
2月22日(土) 2月23日(日)	第36回 森林(もり)の学校	早春の森を楽しむ 雪の中で春の芽吹き探しと地域文化の体験 源流の森インタープリターが案内 参加費子供3,000円(1泊2日)

眺海の森で嬉しいイベント 問い合わせ先：眺海の森森林学習展示館 TEL. 0234-62-3323

月 日	イ ベ ント	内 容
5月26日(日)	第2回眺海の森森林教室	新緑の森林散策、舞茸の植菌、枝の椅子作り 参加費500円/1人
7月 7日(日)	眺海の森ロードレース	松山町教育委員会主催で小学生男子、女子、中学生男子、女子、一般男子、女子、親子の種目
7月下旬	眺海の森音楽祭	野外ステージ会場にアマチュアバンドコンテスト
8月25日(日)	第3回眺海の森森林教室	昆虫探しの森林散策、沼での魚釣り、カイト製作・カイト揚げ 参加費500円/1人
9月28日(土)	眺海の森 グランドゴルフ交流大会	庄内市町村のグランドゴルフ愛好会の交流大会
10月 6日(日)	第4回眺海の森森林教室	木の実探しの森林散策、きのこ収穫、木工製作 参加費500円/1人
11月10日(日)	第5回眺海の森森林教室	落ち葉ウォーク、ネイチャーゲーム、なめこ植菌体験、木工製作など 参加費500円/1人



根元周囲六・八呎、枝下が短く南側に三本と北側に一本太枝を出して、樹高約二十六呎、根幹の境界から一呎上の幹周は七・四呎、目通幹周はこれより太いが、雄株で実はならないが、南西の枝に最も多く乳柱を生じ、乳イチョウとして婦人層の信仰を集めている。樹齢三百年以上と推定されるが明らかでない。乳柱そのものは珍しくないが、乳柱が土中に達しているのは珍しいとされている。昭和二十七年四月一日山形県指定天然記念物に指定されている。(山形県森林協会)

山形県の古木・名木<sup>③</sup>

三ヶ沢の乳イチョウ

立川町大字三ヶ沢字白山口

案内図



公共木造施設<sup>②</sup>

自然資源活用型  
交流促進施設(コテージ4棟)

舟形町長沢



延床面積：263㎡（4棟）

完成年度：平成11年度

構造：木造（杉材使用）

特徴：自然景観と良くマッチしている

その他：舟形若あゆ温泉、県民ゴルフ場と隣接している

問い合わせ先：コテージ舟形若あゆ温泉清流センター ☎0233-32-3655

# 松くい虫防除にご協力をお願いします

県内の松くい虫による被害は、昭和五十三年に発生して以来、平成七年度にピークを向え、その後減少していましたが、平成十一年度から夏の高温少雨により増加してきており、十三年度の被害量は対策を実施する民有松林で一万九千九百㎡(約五万六千本)と、過去最高の発生量となっております。

今年度も少雪と春先からの高温により、発生量の増加が懸念されています。県では、関係市町村及び森林組合等と連携をしながら、公益的機能が高い保安林や生活に密着した機能を持つ砂丘林等の「保全すべき松林」を重点に、被害木の伐倒駆除や予防対策としての薬剤散布等を実施し防除を進めていくこととしております。

地域の貴重な松林を守るため、伐倒駆除等の事業実施がスムーズに進められるよう、森林所有者ならびに地域の皆さんのご協力をお願いいたします。また、防除区域内で、松くい虫被害と思われる松を発見した場合には、被害のまん延を防ぐため、早期に市町村又は、森林組合まで連絡をお願いします。松くい虫の付着している伐採木は、被害のまん延を防止するため、「森林病害虫等防除法」に基づき移動禁止措置がなされておりますので、林地内から搬出しないようご理解とご協力をお願いいたします。

〔県森林課〕

21世紀の緑を美しく、  
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団法人

山形県林業コンサルタント

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800  
FAX (023)647-1801

環境を守ろう

災害に強い県土を  
良質な水の安定供給を  
緑豊かな環境づくりを

森林を育てよう

山村の生活環境の整備を  
森林の恵みの循環利用を

山形県森林土木建設業協会

山形市桜町2-35(林業会館内)  
電話(023)632-3893 FAX(023)632-5454



緑の募金  
春募金  
4月23日～5月31日

21世紀は森林の世紀・緑の基金で森林ルネッサンス

財団法人 **山形県みどり推進機構**

理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265  
TEL (023) 688-6633  
FAX (023) 688-6634

ISO 9001



お気軽にご用命ください

- ☆ 土壌汚染・地下水汚染調査及び修復業務
- ☆ 保安林解除・林地開発許可申請書作成業務
- ☆ 土砂災害防止のための治山 GIS、地すべり GIS 及び上下水道施設、都市計画などの都市 GIS 業務

土と水と緑の技術で社会に貢献する



**国土防災技術株式会社**  
山形支店

〒990-0023 山形市松波1-16-9 (カネマルビル)  
TEL (023) 622-3979 · FAX (023) 631-7294

建設コンサルタント / 建設業 / 地質調査業 / 測量業

みちのく書房 新刊案内

第53回全国植樹祭記念

# 森のくにやまがた

～感じていますか 森があるしあわせ～

- 体裁 A4判・112頁・オールカラー
- 定価 本体 **780**円+税
- 発行 みちのく書房

山形県山形市北町一丁目3-1 TEL **023-684-5608**



印刷所  
渡辺活版所  
定価  
一部二〇円

森林やまがた 5月号 平成14年5月1日発行 通巻第62号

監修 山形県

編集・発行 山形県森林協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

TEL 023-631-6566 023-622-8823

FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>  
第53回全国植樹祭ホームページ <http://www.shokujusai-yamagata.jp>

古紙配合率 100%再生紙を使用しています